

第 48 回「南山大学英語教員セミナー」の実施概要

第 48 回を迎える今年の英語教員セミナーでは、「AI 時代の創造的な英語教育」(Creative English teaching in the AI era)」をテーマに、AI との共存と活用方法を考えることとネイティブスピーカー教員による英語コミュニケーション演習を両輪とする講座を企画しました。セミナーの講師は、英米学科の専任教員 5 名に加え、学外からは次の 3 名の先生をお迎えしました。一昨年に引き続き、国際教養大学より英語授業の達人、内田浩樹先生。新企画として、高校現場で魅力的な英語教育を実践している、愛知県立昭和高等学校の箕浦麻里先生。元南山国際高等学校教諭・現在椋山女学園大学准教授で、文学教材を英語教育に生かすことを専門としている児玉恵太先生です。各講座の概要は次の通りです。

テーマ：「AI 時代の創造的な英語教育」

Creative English teaching in the AI era

講師：内田 浩樹 (国際教養大学教授)

講師：箕浦 麻里 (愛知県立昭和高等学校教諭)

講師：児玉 恵太 (椋山女学園大学准教授/南山大学外国語学部非常勤講師)

講師：CRIPPS, Anthony (南山大学外国語学部教授)

講師：RYAN, Anthony (南山大学外国語学部教授)

講師：今井 隆夫 (南山大学外国語学部教授)

講師：SAKAMOTO, Fern (南山大学外国語学部准教授)

講師：HOWE, Bradley (南山大学外国語学部講師)

開催日時：2024 年 8 月 2 日 (土)、8 月 3 日 (日)、8 月 4 日 (月)

9 時 30 分～15 時 15 分

※ただし、1 日目は、開会式が 9:20-、3 日目は閉会式が 15:15-15:35 に開催されます。

開催場所：R 棟 5 階 R 5 6 教室

【日程等】

2024 年 8 月 2 日 (土)

開会式：9:20 ～ 9:30

セッション 1：9:30 ～ 11:00：講師：SAKAMOTO, Fern

セッション 2：11:15 ～ 12:45：講師：RYAN, Anthony

セッション 3 : 13:45 ~ 15:15 : 講師 : 児玉 惠太

2024 年 8 月 3 日 (日)

セッション 4 : 9:30 ~ 11:00 : 講師 : 今井 隆夫

セッション 5 : 11:15 ~ 12:45 : 講師 : 箕浦 麻里

セッション 6 : 13:45 ~ 15:15 : 講師 : HOWE, Bradley

2024 年 8 月 4 日 (月)

セッション 7 : 9:30 ~ 11:00 : 講師 : 内田浩樹

セッション 8 : 11:15 ~ 12:45 : 講師 : CRIPPS, Anthony

セッション 9 : 13:45 ~ 15:15 : 講師 : 内田浩樹

閉会式 : 15:15 ~ 15:35

| セッション | 担当講師 | 内容 |
|-------|-------------------|--|
| 1 | SAKAMOTO, Fern | AI in Language Education: Challenges, Opportunities, and Creative Solutions For many educators, the advent of AI and its swift rise to ubiquity have sparked concerns around plagiarism, assessment, academic dishonesty and student disengagement. For others, AI represents exciting opportunities for innovation in teaching and significant time saving. In this session, we will share experiences and perspectives from both sides of the AI conversation, and collaborate on creative strategies to address its challenges while maximizing its potential benefits for language educators. |
| 2 | RYAN, Anthony | Utilizing AI as a Tool for Teaching and Learning English teachers, like all teachers in primary and secondary schools in Japan, often face high student numbers, limited preparation time and pressure to assess students according to MEXT's four categories of objectives. How can AI tools assist teachers to make their jobs a little bit easier? This presentation will include a brief presentation outlining the instructor's use of AI in assessing oral communication, followed by a hands-on workshop session that approaches AI from two perspectives: (a) recommended tools for student usage both inside and outside lessons, and (b) AI tools as 'teacher assistants' in lesson planning and assessing students. The instructor will attempt to put himself in your shoes and demonstrate the application of AI tools to a unit from a high school |

| | | |
|---|-------|---|
| | | English textbook. While not necessary, participants are encouraged to bring along an e-copy of a unit from the textbook they use as well as their own device if they wish to mirror the demonstration. |
| 3 | 児玉 恵太 | <p>外国語学習における創造的作文—詩を使った活動</p> <p>このセッションでは、英語の授業で詩を書く実践を紹介し ます。詩作は、学習者が英語を自分の目的のために使う体験 を通じて、より主体的な言語使用者となることを促します。正 解を求める活動とは異なり、自分の感じたことや考えを自由 に表現できるため、学習意欲を高め、創造的思考を育むきっ かけにもなります。また、他者と詩を共有することで、多様 な視点に触れる機会にもなります。AI 時代においては、自 らの声で言語を発信する力がより一層重要になっており、詩 作はその力を養う有効な手段と言えるでしょう。実例を交え ながら、その教育的意義と可能性を探ります。</p> |
| 4 | 今井 隆夫 | <p>認知能力を活性化する英語学習法—認知言語学と英語教育 の視点から</p> <p>「AI 時代においても英語教育で学ぶ価値があること」に、 日本語と英語の表現方法の違いとそれを支える認知様式の 違いがある。ChatGPT や Google Translate などの AI 翻訳で は、英語と日本語の認知様式の違いについて、使用者は意識 することなく、翻訳先の文化に自然な表現が作成される。し かし、外国語を学ぶ意味の 1 つに、認知様式の違いと言語表 現の違いについて認識することがある。このことは、外国語 学習を通して、人として生きていく上でのコミュニケーション 力を高めることに貢献する。実例をもとに、具体的に考え、 明日からの授業に役立つものとした。また、認知様式の違 いを扱う授業は、学習者が学びを楽しいと思うことに貢献す る。これは、学習者の動機を Deci & Ryan の動機づけのレベ ル 6 (内的動機づけ) に高め認知能力を活性化した学習が可 能となる。</p> |
| 5 | 箕浦 麻里 | <p>学びたい気持ちに火をつける！</p> <p>—AI 活用×活動アイデアで支える高校生の自律的学習—</p> <p>本セッションでは、高校生の英語学習における自律性や学習 意欲の育成を目的とした、さまざまな指導実践をご紹介します。 生徒の自律的な学びを促し、自己調整力を育成し、学習 に向かう意欲を高めることは、現代教育において重要な課題 の一つです。しかし、現在の学習評価における三観点のうち、 「主体的に学習に取り組む態度」を評価することは、しばし ば困難とみなされがちです。Motivation 理論を踏まえた授業 実践と評価の事例を紹介し、特に AI や ICT の活用を通じて、</p> |

| | | |
|---|--------------------|--|
| | | 生徒の自律的な学習姿勢、自己修正力、自信、そして学習意欲 (Motivation) を効果的に高めた実践について報告します。 キーワード：Autonomous Learning、Self-Regulated Learning、Flipped Classroom、ICT、Motivation |
| 6 | HOWE, Bradley | Unstructured play in the language classroom All mammals engage in some kind of ‘unstructured play’ as a vital part of their development, humans are no exception. Doing so allows the brain to expand its catalog of contingencies and the number of operations it can run. This session will outline how aspects of experimentation and unstructured play can be introduced to the English language classroom. |
| 7 | 内田浩樹 | ワクワクしながら見る当選番号① 宝くじの当選番号は、買った人しか見ません。買わなければ自分には関係ないからです。人は、自分に必要なことはさほど意識しなくても身につけるものです。例えば、四則演算。これを知らなければ日常生活に支障が出ます。例えば、常用漢字。これも知らないでは社会生活が送れません。例外的に、必要のないスキルを高度に身につけることがあります。例えば、ピアノ。例えば、テニス。ピアノもテニスもできなくて困ることはまずありません。でも、楽しいと感じた人は、これらのスキルを高めていきます。英語も必要とする人だけが身につけるのですが、将来必要になるとは思っていないけれど、おもしろいから英語を身につけてしまうということが起きます。このメカニズムを授業に取り入れることで、生徒の学習意欲に変化が現れるという観点で授業を組み直してみましよう。 |
| 8 | CRIPPS, Anthony | Smart teaching: Using AI tools and horizon technology to enhance English learning Despite national reforms to emphasize communicative approaches, traditional classroom environments in Japan often fail to meet English language learners’ needs. This session will explore the pedagogical pros and cons of employing AI tools and horizon technology at junior and senior high schools. We will examine the extent to which emerging technology such as generative AI and adaptive learning apps can enhance English language learning. This will be a practical session, and participants will be encouraged to share their experiences based on their teaching careers. |
| 9 | 内田浩樹 | ワクワクしながら見る当選番号② ワクワク感は、宝くじを手にすることから生まれます。授 |

| | | |
|--|--|---|
| | | 業に置き換えれば、生徒が自分で考えてこうじゃないかなと思ったときが、宝くじ購入の瞬間です。それで、答え(=当選番号)は?と気になってくるような授業の組み方をワークショップ形式で検討していきましょう。 |
|--|--|---|

以 上